
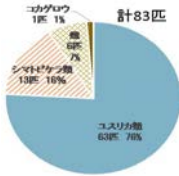
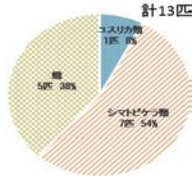


研究室名	<b>蓮田研究室 学会発表</b>
------	-------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

発表時期	2018年12月22日														
学会名	第3回ロボット技術教育シンポジウム														
演題名	衛生害虫のサーベイランスに用いるオートサンプリングマシンの設計と製作														
発表者	○川田 幸樹 (情報電子3年) 荒井 裕貴 (情報電子4年)、 <u>蓮田 裕一</u> (帝京大学理工学部)														
内容	<p>蚊や蠅などの衛生害虫は、感染症を媒介することで知られており、2014年のWHOの調査によると全世界で年間約72万5千人が蚊によって亡くなるなど、危険性が非常に高い。日本でも2014年8月に、代々木公園で発生したデング熱が急速に広まり、全国で160人がデング熱に感染する事例が発生している。デングウイルスを媒介するヒトスジシマカの分布が温暖化に伴い拡大しつつあり、全国で毎年、蚊のサーベイランスが行われている。しかし、調査にはヒト罠法が広く利用されており、研究者が感染する危険性が伴う上、連続した調査が課せられるなど、負担が大きい。トラップ法も存在するが、自動で時間別にサンプリング可能な装置はほとんど開発されておらず、調査の無人化・自動化が強く要望されている。</p> <p>本研究では時間別に採集可能なオートサンプリングマシンを開発し、衛生害虫のサーベイランスの無人化・自動化を試みる。</p>														
関連画像	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">  <p>計83匹</p> <table border="1"> <tr><td>ヒトスジシマカ</td><td>63匹 76%</td></tr> <tr><td>シマトビケラ類</td><td>13匹 16%</td></tr> <tr><td>コスリカ</td><td>7匹 8%</td></tr> <tr><td>コガネノコシメトシ</td><td>1匹 1%</td></tr> </table> </div> <div style="margin-left: 20px;">  <p>計13匹</p> <table border="1"> <tr><td>シマトビケラ類</td><td>7匹 54%</td></tr> <tr><td>ヒトスジシマカ</td><td>1匹 8%</td></tr> <tr><td>コスリカ</td><td>5匹 38%</td></tr> </table> </div> </div> <p>(a)10月3日17:00~19:00      (b)10月4日1:00~3:00 誘引捕獲された昆虫類の割合</p>	ヒトスジシマカ	63匹 76%	シマトビケラ類	13匹 16%	コスリカ	7匹 8%	コガネノコシメトシ	1匹 1%	シマトビケラ類	7匹 54%	ヒトスジシマカ	1匹 8%	コスリカ	5匹 38%
ヒトスジシマカ	63匹 76%														
シマトビケラ類	13匹 16%														
コスリカ	7匹 8%														
コガネノコシメトシ	1匹 1%														
シマトビケラ類	7匹 54%														
ヒトスジシマカ	1匹 8%														
コスリカ	5匹 38%														